



Title	語文 第116-117輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2022, 116-117
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/90805
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

今号は、金水敏先生、飯倉洋一先生のご退職を記念し、両先生の指導を受けた方々の御論考を中心に合併号として刊行致します。意図を汲み、玉稿をお寄せ下さった方々に深く感謝致します。

金水先生、飯倉先生は、二十年以上の長きに亘って本研究室の発展に尽力されてきました。御研究については、今号に載る業績目録にその一端が示されていますが、両先生ともに、専門の研究だけでなく、研究の社会への還元についても多大な貢献をなされていることは周知であると存じます。また、今号の執筆者は両先生に教えを受けた方々ですが、その内容が、両先生の教育の質の高さを示していると思います。

今年四月から、私たちが所属する文学研究科は、言語文化研究科と統合し、人文学研究科として出発することになりました。本研究室も、人文学研究科日本学専攻基盤日本学コースに、日本文学・日本語史学講座として位置づけられます。このような変革の中、新たに、近現代文学がご専門の渡邊英理先生をお迎えできたことは喜ばしいのですが、定めとはいえ、金水先生、飯倉先生がご退職になることは大きな痛手です。しかし、両先生が残されたものを継承し、学問の火を絶やさず、それを社会と繋げることに努めながら進んでゆかねばなりません。会員の皆様には、以前にも増してご協力を仰ぎたいと願っております。

（滝川）

語文 第百十六・百十七輯

令和四(二〇二二)年三月二十五日 印刷
令和四(二〇二二)年三月三十一日 発行

編集者・

大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一一五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 金水敏

振替口座〇〇九四〇一四一二四六四一
電話 〇六一六八五〇一五一一

印刷 能登印刷株式会社